



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 藤井産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9906 URL <https://www.fujii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 昌一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 純一 TEL 028(662)6060
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	40,985	7.3	2,125	48.2	2,412	43.0	1,537	48.1
2023年3月期第2四半期	38,205	10.6	1,433	4.2	1,687	1.9	1,038	△3.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,900百万円(83.2%) 2023年3月期第2四半期 1,037百万円(2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	181.67	—
2023年3月期第2四半期	122.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	57,617	34,486	56.1	3,821.89
2023年3月期	58,735	33,065	52.8	3,665.24

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 32,320百万円 2023年3月期 31,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	50.00	65.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	5.2	3,800	3.4	4,300	2.2	2,800	2.1	330.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,010,000株	2023年3月期	10,010,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,553,344株	2023年3月期	1,545,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,463,468株	2023年3月期2Q	8,464,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12
3. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い行動制限が撤廃されたことで社会経済活動の正常化に向けた動きが見られますが、一方で、エネルギーコストの高止まりに加えて生活必需品の値上げ等により個人消費の伸びが鈍化するなど、今後も先行き不透明な状況が続くと思われま

す。
このような状況の下、当社グループは、「常に時代に対応し、新たな価値を創造しつづける企業グループ」を目指し、持続的な成長と更なる企業価値の向上を図るべく事業展開をしております。

当第2四半期連結累計期間における連結成績は、売上高409億85百万円(前年同四半期比7.3%増)、経常利益24億12百万円(前年同四半期比43.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億37百万円(前年同四半期比48.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(マテリアルイノベーションズカンパニー)

電設資材事業は、猛暑によるエアコン商材の販売増と電線・配管類の販売が堅調に推移したことにより前期を上回る売上高となりました。

建設資材事業は、民間設備投資案件や教育施設整備事業等の外壁工事や屋根工事などが堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

情報ソリューション事業は、情報通信工事は茨城及び首都圏エリアで堅調に推移しましたが、情報インフラ関連が低調な推移となり、前期を下回る売上高となりました。

コンクリート圧送工事は、大型案件がなく前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は222億97百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

(インフラソリューションズカンパニー)

産業システム事業は、生産現場のカーボンニュートラルに向けた取り組みを推進し、医療機器・半導体関連メーカーを中心に主力製品の販売や生産設備の更新案件が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

建設システム事業においては、建設工事は、全てのエリアで堅調に推移し、前期を大きく上回る売上高となりました。また、太陽光発電設備工事も好調に推移し、前期を上回る売上高となりました。一方、設備工事は、茨城エリアが堅調な推移となりましたが、本社において前期にありました大型案件の反動により、前期を下回る売上高となりました。

この結果、売上高は142億78百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

(コマツ栃木)

土木建設機械事業は、新車販売が前期から積み上げた受注残の出荷売上により前期に比べ大幅な売上増となりました。また、サービスマンテナンスは大型機械の計画整備の大口案件前倒し受注もあり売上増となりました。

この結果、売上高は35億55百万円(前年同四半期比21.1%増)となりました。

(その他)

再生可能エネルギー発電は、天候等の影響により前期を上回る売上高となりました。路面切削工事は、前期並みの売上高となりました。計測機器等の販売は、受注が堅調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は8億54百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億17百万円減少し、576億17百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億79百万円減少し、438億44百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億37百万円減少し、137億72百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ25億31百万円減少し、207億65百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、23億65百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ14億20百万円増加し、344億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において2023年5月12日公表の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,955,498	18,431,354
受取手形、売掛金及び契約資産	22,503,297	19,184,149
商品	3,137,000	3,356,259
未成工事支出金	1,135,503	1,355,430
原材料及び貯蔵品	6,786	6,341
その他	1,189,002	1,597,425
貸倒引当金	△102,669	△86,316
流動資産合計	44,824,421	43,844,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,834,937	2,765,981
機械装置及び運搬具（純額）	2,625,235	2,493,321
土地	3,183,449	3,183,449
その他（純額）	449,229	407,839
有形固定資産合計	9,092,850	8,850,592
無形固定資産		
のれん	132,580	108,474
その他	99,432	79,058
無形固定資産合計	232,012	187,533
投資その他の資産		
投資有価証券	3,073,910	3,272,538
その他	1,627,198	1,592,470
貸倒引当金	△115,264	△130,301
投資その他の資産合計	4,585,845	4,734,707
固定資産合計	13,910,708	13,772,833
資産合計	58,735,130	57,617,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,995,342	14,451,448
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	842,802	885,197
賞与引当金	1,059,651	876,157
役員賞与引当金	108,000	51,924
工事損失引当金	2,200	5,190
1年内償還予定の社債	12,000	12,000
その他	2,276,544	3,483,180
流動負債合計	23,296,540	20,765,098
固定負債		
社債	66,000	60,000
役員退職慰労引当金	216,769	23,117
退職給付に係る負債	994,190	1,024,468
その他	1,095,768	1,258,388
固定負債合計	2,372,727	2,365,973
負債合計	25,669,267	23,131,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,075,687	2,075,687
利益剰余金	27,386,729	28,500,917
自己株式	△953,409	△970,393
株主資本合計	30,392,657	31,489,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	608,679	807,323
退職給付に係る調整累計額	22,862	23,259
その他の包括利益累計額合計	631,542	830,583
非支配株主持分	2,041,662	2,165,958
純資産合計	33,065,862	34,486,404
負債純資産合計	58,735,130	57,617,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	38,205,675	40,985,407
売上原価	32,334,804	34,065,957
売上総利益	5,870,871	6,919,449
販売費及び一般管理費	4,437,128	4,794,025
営業利益	1,433,742	2,125,423
営業外収益		
受取利息	2,647	2,947
受取配当金	47,440	56,377
仕入割引	121,945	136,760
受取賃貸料	26,674	25,047
持分法による投資利益	17,400	15,936
貸倒引当金戻入額	—	1,175
その他	60,025	84,714
営業外収益合計	276,135	322,959
営業外費用		
支払利息	5,666	6,220
賃貸費用	7,603	7,400
保守補償費用	—	12,691
その他	8,816	9,105
営業外費用合計	22,086	35,417
経常利益	1,687,790	2,412,966
特別利益		
投資有価証券売却益	—	70,280
特別利益合計	—	70,280
税金等調整前四半期純利益	1,687,790	2,483,247
法人税等	591,118	841,959
四半期純利益	1,096,672	1,641,288
非支配株主に帰属する四半期純利益	58,438	103,717
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,038,234	1,537,570

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,096,672	1,641,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,663	259,291
退職給付に係る調整額	3,816	397
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,047	△68
その他の包括利益合計	△58,893	259,619
四半期包括利益	1,037,778	1,900,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,005,551	1,736,611
非支配株主に係る四半期包括利益	32,227	164,296

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,687,790	2,483,247
減価償却費	338,369	351,814
のれん償却額	24,105	24,105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,844	△1,315
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△284,804	△183,493
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△67,350	△56,075
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31,511	30,849
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16,297	△193,652
受取利息及び受取配当金	△50,087	△59,325
支払利息	5,666	6,220
持分法による投資損益 (△は益)	△17,400	△15,936
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,719	3,319,148
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,260,132	△438,739
仕入債務の増減額 (△は減少)	932,727	△3,543,893
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△70,280
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	2,990
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△24,029	1,218,862
その他	△212,844	△282,543
小計	1,077,349	2,591,982
利息及び配当金の受取額	51,239	60,369
利息の支払額	△5,667	△6,219
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△425,506	△788,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	697,415	1,857,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△355,843	△100,076
投資有価証券の取得による支出	△10,028	△11,182
投資有価証券の売却による収入	—	269,226
無形固定資産の取得による支出	△5,397	△861
その他	△1,115	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372,386	157,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△12,117
長期借入れによる収入	—	11,376
長期借入金の返済による支出	—	△68,259
社債の償還による支出	△66,000	△6,000
自己株式の取得による支出	—	△78
配当金の支払額	△338,705	△423,381
非支配株主への配当金の支払額	△44,000	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△448,705	△538,460
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△123,675	1,475,855
現金及び現金同等物の期首残高	16,636,560	16,955,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,512,884	18,431,354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月27日 定時株主総会	普通株式	338,705	40	2022年3月31日	2022年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年11月14日 取締役会	普通株式	127,014	15	2022年9月30日	2022年11月30日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月28日 定時株主総会	普通株式	423,381	50	2023年3月31日	2023年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年11月13日 取締役会	普通株式	211,689	25	2023年9月30日	2023年11月30日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	14,144,002	11,358,527	2,935,108	28,437,637	715,138	29,152,776
首都圏エリア	5,179,441	1,825,839	—	7,005,280	—	7,005,280
東北エリア	493,750	677,117	—	1,170,867	—	1,170,867
その他	—	766,919	—	766,919	109,830	876,749
顧客との契約から生じる収益	19,817,193	14,628,404	2,935,108	37,380,706	824,968	38,205,675
外部顧客への売上高	19,817,193	14,628,404	2,935,108	37,380,706	824,968	38,205,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,509	27,433	767	45,710	370	46,080
計	19,834,703	14,655,837	2,935,876	37,426,417	825,338	38,251,755
セグメント利益	665,063	606,034	201,474	1,472,572	209,596	1,682,168

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、路面切削事業等を含んでおります。

2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。

3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。

4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。

5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,472,572
「その他」の区分の利益	209,596
持分法による投資利益	17,400
配賦不能全社損益(注)	△14,654
その他の調整額	2,876
四半期連結損益計算書の経常利益	1,687,790

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	マテリアル イノベーションズ カンパニー	インフラ ソリューションズ カンパニー	コマツ栃木	計		
売上高						
北関東エリア	15,897,635	8,943,204	3,555,213	28,396,053	737,162	29,133,215
首都圏エリア	5,906,630	3,068,553	—	8,975,184	—	8,975,184
東北エリア	493,016	1,123,470	—	1,616,487	—	1,616,487
その他	—	1,143,203	—	1,143,203	117,316	1,260,520
顧客との契約から生じる収益	22,297,283	14,278,431	3,555,213	40,130,928	854,479	40,985,407
外部顧客への売上高	22,297,283	14,278,431	3,555,213	40,130,928	854,479	40,985,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,498	18,437	911	37,846	2,921	40,768
計	22,315,781	14,296,868	3,556,124	40,168,774	857,400	41,026,175
セグメント利益	1,010,471	803,867	372,790	2,187,129	226,557	2,413,687

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー発電事業、路面切削事業等を含んでおります。

- 2 北関東エリアは、茨城県、栃木県、群馬県における売上高であります。
- 3 首都圏エリアは、埼玉県、東京都、千葉県における売上高であります。
- 4 東北エリアは、宮城県、福島県における売上高であります。
- 5 その他は、上記エリア以外における売上高であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,187,129
「その他」の区分の利益	226,557
持分法による投資利益	15,936
配賦不能全社損益(注)	△11,466
その他の調整額	△5,190
四半期連結損益計算書の経常利益	2,412,966

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社コーポレート本部の一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を見直しており、「その他」に計上していた一部の業務について、「インフラソリューションズカンパニー」に計上しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメントの区分方法に基づいております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。